

議会報告会結果報告

開催日時	平成 27 年 5 月 16 日（土） 10 時～11 時 50 分			
開催場所	鎌倉市役所本庁舎 2 階 議会全員協議会室			
出席議員	班長	渡邊 昌一郎		
	司会	赤松 正博		
	中村 聡一郎	前川 綾子	河村 琢磨	保坂 令子
	西岡 幸子	池田 実	日向 慎吾	永田 磨梨奈
	三宅 真里	中澤 克之	納所 輝次	小野田 康成
	岡田 和則	吉岡 和江	大石 和久	
参加人数	17 人			
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 2 月定例会の報告 ・意見聴取会 			
内 容	<p>【委員長報告への質疑】</p> <p>Q1. 工事等の予算および期間を現場に掲示するなどしてわかりやすく出来ないか。</p> <p>A1. 建設常任委員長 ガス、電気、水道などライフラインの工事を同時にするなどして、費用と期間の効率化を目指している。</p> <p>Q2. 子ども達の運動能力の低下に対する懸念があるがその対策はどうなっているか。</p> <p>A2. 教育こどもみらい常任委員長 新たな教育委員制度がはじまった。行政の執行機関もかかわって協議をしていくことになるので、議題として取り上げてもらえるよう働きかけていく。</p> <p>Q3. 新ごみ処理焼却場の建設に時間が 10 年もかかるのはなぜか。</p> <p>A3. 観光厚生常任副委員長 近隣住民の理解を得ることや関係調査が必要になるなど、行政の手法はどうしても時間がかかってしまう。</p> <p>Q4. 旧図書館の解体について、行政だけで決められるのか。議会はどのように関わっているのか。</p> <p>A4. 総務常任委員長 学童施設を移動させて会議スペース等を確保する方向で、旧図書館を解体することに議会も承認した。その後、解体慎重論の陳情が提出された。</p> <p>Q5. 議会基本条例制定後、初の議会報告会となったが、具体的にどのようなところが変わったのか。</p> <p>A5. 議長 議会報告会を行うこと、反問権を行政側が持つこと、定数の協議、委員間討議を行う</p>			

ことなどが挙げられる。委員間討議については、前回の観光厚生常任委員会ですで行われた。各議員が行政に質問を行っていくこれまでのやり方だけでなく、これからは各々の考え方などを議員間で行い、より深い議論を行って委員会としてまとめていくことになる。

【委員長報告への質疑でのご意見・ご要望等】

- ・質疑は委員長報告の内容について1問1答で行われるよう、司会者が誘導する方がよい。

【意見聴取会での主な意見】

1. 新ごみ焼却施設について

- ・ごみ処理は市の責任なのに、市民に負担が押しつけられている。有料化すれば一時的に削減効果があるのかもしれないが、リバウンドは必至。燃やすごみの中で、生ごみの処理こそ重要視すべきである。
- ・期間を短縮して新焼却炉を作るべきだ。それも、他市のごみも引き受けられるくらい処理能力に余裕を持たせて建設すべきだ。
有料化の手数料を貯めて建設資金に充て、足りなければ市民から寄付を募る。山崎に多世代が集える施設も作ってほしい。
- ・ごみ問題は子供から大人まですべての人に関係があるものであり、ごみ焼却施設の建設は山崎での一極集中ではなく、市内の皆で分かち合う分散型にすべきである。

2. 北鎌倉駅側道のトンネルについて

- ・4月28日に通行止めになったが、お知らせの配布は4月27日から行われ、私がお知らせを見たのは5月4日である。突然の閉鎖であり、周知の仕方がおかしいのではないか。
- ・市の見解では、「剥離等に対し緊急の安全対策をする」としているが、いつ行うのかははっきりしない。剥離の緊急対策ならすぐに出来るはず。住民は困っているので、直ぐに緊急対策を行い、通れるようにしてほしい。トンネルを保全するかどうかは、その後で議論したい。
- ・昨年の5月10日に町内の会合で内面補強が可能との見解が示された。その後10月23日まで何の報告もなく、突然トンネルの危険性と安全対策の資料が提出された。行政があわてて資料を作ったのか。住民自治の観点から、初めから行政が入っているのはおかしい。住民自治を無視している。代表と行政との話し合いではなく、住民間で話し合いをした結果について、行政(市長)が判断するべきではないか。
- ・市民から出された陳情は、トンネルの開削による恒久的安全対策を求める方は採択された。賛否がわかるもう一方は継続になっており、市民にとってはわかりづらい。

3. 地域での課題について

- ・北鎌倉周辺には空き家が多くある。ICT産業など若者が活用できるような政策をお

願いたい。歴史まちづくり法の重点地域に指定して、若者を引きこむような空き家対策はできないか。

- ・七里ガ浜在住であり、津波が心配である。
- ・海岸の防護壁、防潮堤は必要か。

4. 議員及び議会運営について

- ・議会を傍聴していると、議員間の討論がないのが残念。討論が行われないと、議員の関心がどこにあるのかわからない。
- ・インターネット中継の録画をもっと早くアップすべき。議員とコミュニケーションを取るためには短期間のうちのアップが必要。
- ・一般質問の項目の事前公表が遅い。Webサイトだけでなく市役所1階への掲示もしてほしい。
- ・議員は、定例会等における課題に対する調査・研究のうえ、審議を深めるのは当然の事として時々起こるトピックスをテーマとして、積極的に取り組んでもらいたい。
- ・市民が欲していることを、議員が汲み取る力が必要。
- ・委員会や議会が何をしている場所かわからない。こういう報告ではもう一度来たいと思わない。これからどのように行っていくのが課題だと思う。
- ・市民の考え方を察知しながら 議員間論議を活発化してほしい。
- ・多くの予算がどのように配分されたのか、議員は市民のために、何をどれだけ勝ちとったのか、細目が見えるようにしてほしい。
- ・市民にわかりやすい話し方でないと、報告聞いてもよくわからない。議会がどのような流れで、何が行われているかわかるよう市民に親しまれる議会づくりをすべき。
- ・市政のこと知らない市民も 何かの引っ掛かりがある場が必要である。そうでないと、議会はいらな思われてしまう。
- ・一般質問は議員の宣伝である。基本的にはパフォーマンスである。
- ・各委員会で審議されている条例や予算がどのように採択されたのか、プロセスをわかるようにすることが必要。
- ・鎌倉市政について 具体的な問題意識をもって、取り組んでいかなければならないと思う。
- ・議会での議論は全会一致でいいのか。喧嘩をしても、議論をする必要があり、いい加減な妥協は許されない。
- ・本会議での質問は、肉付けが多くて、核心がボケてしまっている気がする。もう少し核心を突くようにしてほしい。

5. 議会報告会について

- ・議会報告会は、もっと回数を多く開催すべきである。
- ・報告会の目的が何かわからない。
- ・時間があつたので 参加したが、もう二度と来ないと思う。
- ・報告会で何をするのか資料を示すべきである。

- ・開催する効果がないと、参加する意義がない。
- ・「初めての報告会だから」という発想に問題がある。
- ・委員長報告等多岐にわたって、焦点を絞らないと論議が深まらない。
- ・市民の意見を求めるのはよかった。

6. 観光行政について

- ・鎌倉と言う名前に負けている。観光協会のホームページを見ても更新していない。新しい事業や観光計画が見えてこない。
- ・観光行政等に絞っての議論の場が必要ではないか。
- ・国内は人口が減少しているので、外国人観光客対応の多言語化ガイド、Wi-Fi の普及が必要。

7. その他ご意見・ご要望等

- ・財政問題を取り上げている議員少ない。財政が厳しいというが収入確保策はどうなっているのか。
- ・高齢者が増え、福祉、介護等の支出が増えるが、収入確保はどうしていくのか。今は豊かと言われているが、20年、30年先まで道筋を示してほしい。
- ・法人税の税収アップのために、企業誘致に努めるべきだ。
- ・若者にとって魅力のあるまちにしてもらいたい。地域が高齢化している中で、鎌倉は観光では魅力的なまちだが、若者が住むのに魅力的なまちかどうか疑問である。20年先30年先を見据えて、若者が住みやすいまちにほしい。
- ・駐車場約900円かかる。出席者には無料券を配るなどの配慮が欲しい。
- ・こどもの安心・安全のための予算が減額している。こどもを取り巻く現状を再認識し、安心・安全に供する予算配分をすべきである。
- ・選挙の投票率が年々下がっているが、鎌倉市における歳入・歳出のオープンデータ化、ビックデータ化など行い、市民ニーズに合った税金の使い方が市民にわかれば、市政への関心が高まり、投票率のアップが望まれるのではないか。
- ・鎌倉大仏トンネルの工事の予算を明確にしてほしい。
- ・津波対策が継続的に行われていない。
- ・情報公開条例の裏表がある。条例の運用では、過剰に黒塗りが多い。
- ・公共施設再編計画に床面積半分にするがあったが、その土地が何平米あって、借りている土地なのか所有している土地なのか、いくらで借りているのかなどのリストがない。もしないなら、どうすればわかるか示すべき。
- ・再編計画は重要だ。それぐらい無料で市民に渡して意見を聞く姿勢が必要だと思う。
- ・防災計画に消防施設について費用対効果で再編するとあったが、消防は別に考えるべきで、無理だと思う。